



部会だより

コロイドおよび界面化学部会

関西支部の活動状況

はじめに

コロイドおよび界面化学部会関西支部では、毎年夏にコロイド・界面化学分野を基礎から学ぶ場としての「関西界面科学セミナー」を、冬には企業の研究者・技術者向けにアプリケーションを主体とした「コロイド・界面実践講座」を開催しています。コロイド・界面化学の基礎を学ぶ場としては、部会が主催する「界面コロイドラーニング」が2010年度から大阪でも開催されるようになりました。一方、関西支部の「関西界面科学セミナー」は、「界面コロイドラーニング」とは違った切り口で基礎を学べるよう、毎年テーマを変えて行っています。

今年は7月20日(土)に関西大学千里山キャンパス 100 周年記念会館で、「第37 回関西界面科学セミナー：界面活性剤・両親媒性物質の基礎と今後の潮流～界面活性剤による新しい価値の創造～」を開催しました。

第 37 回 関西界面科学セミナー

界面活性剤（両親媒性物質）は、洗浄剤をはじめ化粧品、香粧品、製薬、食品、塗料や電子材料など我々の身の回りの広範な製品に用いられており、コロイド界面の分野では主要なトピックの1つです。界面活性剤の開発には長い歴史がありますが、様々な機能や構造をもった新たな界面活性剤の開発が現在も精力的に



セミナーの様子

進められています。今回は、最近注目されている機能性界面活性剤・両親媒性物質について、この分野でご活躍中の気鋭の研究者の方々に基礎から応用までをわかりやすく解説していただきました。ご講演は、(1) 矢田詩歩先生（奈良女子大学）「四級アンモニウム塩系ジェミニ型両親媒性イオン液体」、(2) 小野大助先生（大阪産業技術研究所）「化学分解性界面活性剤の開発とその応用について」、(3) 丸山達生先生（神戸大学）「界面活性剤型ペプチド脂質による機能性ゲル」、(4) 遊佐真一先生（兵庫県立大学）「機能性高分子界面活性剤」、(5) 島津彰先生（日東電工(株)）「分子シミュレーションでみる高分子接着界面の相互作用と分子の動き」、(6) 坂井隆也先生（花王(株)）「サステナブル社会に向けた界面活性剤の開発」と、界面活性剤・両親媒性物質の最新のトピックについてお話していただきました。参加者85名のうち、企業や大学の研究者・技術者は50名を超え、先端技術を基礎から学びたいというニーズを実感しました。

講演終了後、学生による23件のポスター発表が行われ、90分の発表時間を超えるほど熱心な質疑応答が続いていました。支部委員の厳正な審査の結果、守田つかささん（奈良女子大学）「ジェミニ型およびトリメリック型カチオン界面活性



ポスターセッションの様子



優秀ポスター賞受賞者と関西支部長、副支部長

剤の気/液界面における吸着特性」、松原しおりさん（関西大学）「W/O 界面での糖一レクチン複合体を利用したグルコース応答性マイクロカプセルの調製」、藤原準也さん（大阪工業大学）「速度論的安定化メカニズムに基づくリキッドマーブルの精密形状制御」、黒山遥平さん（京都大学）「イオン液体と油との間の新規電気化学ソフト界面を反応場とする金属ナノ構造析出」に優秀ポスター賞が授与されました。

おわりに

関西支部のもう1つの重要なイベントである「コロイド・界面実践講座」は2020年1月に開催予定です。詳細が決まり次第、部会ホームページでお知らせしますので、ぜひご参加下さい。

関西支部の委員は大学・公的機関と企業の研究者がほぼ同数で、コロイド・界面の「基礎から応用まで」を広く、深く学ぶ機会を提供できるような企画を心がけて運営しています。今後とも関西支部の活動にご支援をよろしくお願い申し上げます。

〔2019 年度コロイドおよび界面化学部会
関西支部・支部長 懸橋理枝
(大阪産業技術研究所)〕

© 2019 The Chemical Society of Japan